

東京都済生会中央病院を受診された患者さんへ（臨床研究に関する情報）

東京都済生会中央病院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

〔研究課題名〕

麻薬使用に関連したインシデント報告事例の分析調査～再発防止にむけたリスクマネジメントの取り組み～

〔研究機関名及び研究責任者氏名〕

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 研究責任者 東京都済生会中央病院 三浦美和子
機関長 東京都済生会中央病院 院長 海老原全

〔研究意義〕

がん看護専門看護師の役割として医療安全推進室と協働し看護師の麻薬に関連した事例発生に対するリスクマネジメントをおこなってきました。発生事例を分析することで、医療現場においての事例発生の傾向を明らかにし、組織にフィードバックすることができ患者に安全で良質の医療を提供できると考えています。

〔研究目的〕

麻薬使用に関連したインシデント事例を分析することで事例発生の傾向を明らかにし、再発防止に向けたリスクマネジメントに取り組む資料とすることを目的としています。

〔研究の方法〕

この研究の対象者は、2018年4月1日から2023年3月31日までに麻薬を使用していた患者さんまたはその対応をしていた看護師です。

再発予防を目的とした研究のため、対象となる事例は、看護師が麻薬使用の際に医療安全推進室報告した事例となります。対象となる事例の患者影響レベルがレベル0（ニヤミス）から3a（害を及ぼさないもの）です。

この研究は東京都済生会中央病院、臨床研究倫理審査委員会の承認を受けて実施するものです。特に新たにご負担いただくものありません。

[個人情報の取り扱い]

この研究に関わって収集され試料や情報・データ等は外部に漏洩することがないように慎重に取り扱う必要があります。利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は[問い合わせ先]にご連絡ください。その場合も診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。なおあなたへの謝金はありません。

[問い合わせ先]

東京都港区三田1-4-17

東京都済生会中央病院

看護部

担当：三浦美和子

電話 03-3451-8211